

2017 年度事業報告書

特定非営利活動法人 きんきうえぶ

I 事業期間

2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日

II 事業の成果

平成 29 年度も、ICT を駆使し、年齢、性別、障害、文化などの違いに関わり無く、だれもが住み慣れた地域で、健やかに日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動にいきいきと参加できる地域社会の形成を目的とし、活動致しました。

ICT 推進事業の内、パソコン講座については、本年も IT 情報弱者や格差をなくすため、富田林市社会福祉協議会や人権文化センターとの協働による「高齢者を対象としたパソコン講習会」を一年間連続で開催致しました。また千早赤阪村社会福祉協議会との協働による「スマートフォン教室」も引き続き行いました。

太子町、河内長野市キックス、スマイルパソコンクラブ（2 クラス）においては、地域住民が中心となって主催するパソコン講座を講師が共にニーズを引き出し、工夫しながら進める方法で長年に渡り続け、孤立防止、生き甲斐づくりに貢献しています。

その他、河内長野市の天野公民館、天見公民館などのパソコンサークルも地域における ICT の底上げとして定着しています。

また（株）ダイナステップが窓口のドコモのスマホ教室は、端末やテキストは提供ながら、講習は有料のスマホ教室を続けて行いました。

ICT 推進事業としては、H29 年度 3,501 名の参加者がありました。

パソコンクラブについては、クラブ代表者を中心として、クラブメンバー同士の友好関係を築き、友好関係の中からパソコンのスキルアップを図る勉強会を実施致しました。

富田林市で勉強会を開催している「とんだばやしうえぶ」、羽曳野市で勉強会を開催している「はびきのうえぶ」では、例年に変わらず、住民中心の勉強会を開催していますが、会員の高齢化に伴い、会員数は減少傾向にあります。

H29 年度とんだばやしうえぶの年間勉強会回数は 70 回、会員数は 20 名、はびきのうえぶの年間勉強会回数は 64 回、会員数 9 名です。

2011 年の「新しい公共モデル事業」で開発した「おはよう伝言板」も引き続き無償で実施し、6 年目になりました。登録者の高齢化による減少の他、携帯電話の機種変更、スマホへの移行でシステムが対応できず、おはようメールの受信を断念せざるを得ない人もあり、登録者は減少傾向にあります。（H30 年 5 月現在登録数 304 名、実稼働数 70 名）

しかし変わらず毎日のメールを楽しみにしている人も多く、今後も継続の見込みです。

介護予防事業として 11 年目を迎えた「街かどデイハウスきんき茶ろん」は利用者の高齢化が目立っていますが、歌声サロンやお食事会により登録者数が増加し、H29 年度の街かどデイハウスきんき茶ろんの延べ利用者数は 1648 名、延べ利用時間は 8112 時間となりました。

他、定点型介護予防体操教室・定点型認知症予防教室は定着し、毎回、男女問わず、多くの高齢者が参加し、定点型介護予防体操教室参加人数は延べ 404 名、定点型認知症予防教室は延べ 502 名の参加がありました。

富田林市市民公益活動支援センターとして、市民公益活動の交流場所、活動場所として、4ヶ所のネットワークステーション、5ヶ所の公的連携施設では、年間9410名の利用者がありました。2ヶ月に一度のニュースレター発行や講習会を実施して、講習会の参加者は年間109名、メルマガの発行部数は年間133通です。

大阪大谷大学との連携で、ループリック作成研修参加、志学祭参加団体支援、第8回南河内のつどいイベント参加、実習生課題報告会参加、TeamY. A. O. ひろとん反省会参加、人材育成事業実習生受け入れなど、行いました。

2月18日には、近隣の大型ショッピングセンター（株）関西都市居住サービスとの協働でエコーロゼを会場とした公益活動の市民への周知啓発が目的のイベント「第13回わくわく広場 in とんだばやし」を開催し、市内外おおよそ60団体の参加、約2000人の動員ができました。

また、「とんだばやし子ども食堂・居場所づくり運営支援ネットワーク」として富田林市人権政策課、富田林市社会福祉協議会と連携し、子ども支援サポーター研修全3回開催等を行い、子ども食堂開催団体5団体の支援、ボランティアの養成、ホームページを作成し活動の発信支援を行いました。

またH28年度よりはじまった生活支援コーディネーター事業も引き続き受託契約致しました。市役所関係各課、包括支援センター、地域の地縁組織団体、有識者等で構成される協議体会議は、年間6回、打合せ会議は年間12回実施されました。H29年度の協議体では、富田林市内の高齢者の居場所づくりや高齢者の移動支援についての視点から、介護予防・生活支援サービス事業であるサービスBやサービスDを位置付ける方法についての話し合いを進めてきました。

H29年度より金剛地区再生指針推進支援業務を受託。H29年度は、参加者総数43人で全6回の会議を開催しました。まちづくりの理想像を目指す意見交換を行い、H29年度行う事業として、4つの部会が誕生しました。居場所づくり部会→①つながりカフェ②高辺プラザカフェ開催、イベント企画部→①金剛バル参加②軽トラマルシェ開催、公園活用部会→①公園フィールドワーク実施②地区内の公園利活用を促す緑のネットワークづくり検討、防災活動部会→金剛地区の防災意識啓発を目標に防災訓練や自主防災会発足についての広報に協力し、今後は、防災に関する「ゆるいつながり」を作ること検討しています。

その他、ニュースレターの発行やシンポジウムの開催、SNS等での発信、情報の一元化などを実施しました。

今後のまちづくり会議の運営については、更に自主的な活動となるように、代表者などの育成や新たな参加者の発掘、「金剛地区まちづくり会議」の浸透、情報発信、予算の確保、規則等のルール作りを目指して活動していきます。

以上2017年度、全て、ICTを基盤とした活動として「人が個人の尊厳を保持され、その人らしい心豊かな人生を送ることができるまちづくりの形成」に、寄与するものとして実施致しました。

Ⅲ 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

自主事業

(1) (事業名) ICT推進事業

(内 容) 従来の個別指導のパソコン教室、集団のパソコン講座開催などの他、富田林市や社会福祉協議会、人権文化センターからの受託事業として高齢者対象や就労支援のためのパソコン・タブレット・スマホ講座、南大阪の商工会加入企業の販売促進のための技術を指導する講習会などを実施した。(別紙1参照)

(実施場所) 富田林市小金台事務所、商工会(富田林市、大阪狭山市、河内長野市、羽曳野市など) すばるホール、富田林市社会福祉協議会、千早赤阪村社会福祉協議会、富田林市人権文化センター、河内長野市市民交流センター、河内長野市内公民館等。

(実施日時) 2017年4月1日～2018年3月31日

(事業の対象者) 富田林市・羽曳野市・河内長野市・太子町およびその周辺住民

(収 入) 4,987,206

(支 出) 5,191,219

(2) (事業名) PCサークル運営事業

(内 容) パソコン勉強会(はびきのうえぶ・とんだばやしうえぶ、別紙2参照)でのホームページ作成、画像、HTMLなど

(実施場所) 大阪府富田林市・羽曳野市の各公民館・ロゼサロン等

(実施日時) 2017年4月1日～2018年3月31日

1年を3ヶ月ずつの4クールに分け実施

はびきのうえぶ延べ64回、とんだばやしうえぶ延べ70回

(事業の対象者) はびきのうえぶ9名、とんだばやしうえぶ20名

(収 入) 87,280

(支 出) 90,736

(3) (事業名) おはよう伝言板

(内 容) 高齢者の毎日の「見守り・相談・買い物」を支援し、災害時に災害用伝言板を使いこなせるようになる携帯電話のシステム。

(実施日時) 毎日

(事業の対象者) 主に富田林市の高齢者

(収 入) 0

(支 出) 29,160

受託事業

(1) (事業名) 介護予防事業

(内 容) 街かどデイハウスきんき茶ろん、定点型介護予防教室、定点型認知症予防教室、独居高齢者見守り事業など、富田林市より委託(別紙3参照)

(実施場所) 富田林市小金台事務所

(実施日時) 2017年4月1日～2018年3月31日

(事業の対象者) 富田林市内、介護保険受給外高齢者(65才以上)

(収 入) 5,910,600

(支 出) 6,236,480

(2) (事業名) 市民公益活動支援センター

(内 容) 市民公益活動・ボランティア活動をしている人、したい人、関心のある人、学びたい人、交流したい人が気軽に使えるふれあいの場の提供。

富田林市より受託。

多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応し、市民生活のさらなる発展を期するために、今後の行財政運営は、民間の知恵や活力を導入するとともに、地域のボランティアやNPO等の市民活動との協働を図る必要がある。

専門的な技術やノウハウを持つボランティア・NPOがともによきパートナーとして、まちづくりに参加できる環境を整備する。具体的には、市民公益活動に関する情報の提供、市民公益活動及びNPO法人設立の相談、またNPO・ボランティア講演会や市民公益活動推進関連講座等の開催を行う。

(別紙4参照)

(実施場所) 富田林市小金台事務所

(実施日時) 2017年4月1日～2018年3月31日

(事業の対象者) 富田林市内の市民、団体

(収 入) 6,339,000

(支 出) 6,414,672

(3) (事業名) 第3圏域生活支援コーディネーター受託事業

(内 容) 高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者を「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」とし、富田林市では圏域ごとに配置された。

関係者のネットワークや既存の取組・組織等も活用しながら、上記のコーディネート業務を実施することにより、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進することを目的としている。

(実施場所) 富田林市第3圏域

(実施日時) 2017年4月1日～2018年3月31日

(事業の対象者) 富田林市内の市民

(収 入) 1,289,000 (見込み)

(支 出) 1,519,896

(4) (事業名) まちづくりコーディネート事業

(内 容) 住民・地域団体・事業者等が主体となって、大阪府富田林市金剛地区の再生・活性化を進めるための企画提案実施を支援する事業。(別紙5参照)

(開催場所) 富田林市内

(開催日時) 2017年4月1日～2018年3月31日

(事業の対象者) 富田林市内住民

(収 入) 1,998,000 (見込み)

(支 出) 2,007,572

IV 社員総会の開催状況

第15期通常総会

- (日 時) 2017年5月27日(土) 11時30分から12時
(場 所) きんきうえぶ小金台事務所
(社員総数) 28名
(出席者数) 23名(うち委任状出席者8名)
(内 容) 第1号議案 平成28年度事業報告について
第2号議案 平成28年度会計報告について
第3号議案 平成28年度監事報告について
第4号議案 平成29年度事業計画・予算について
(審議結果) 各議案について、全員異議なく承認し、本案は可決された。

V 理事会その他の役員会の開催状況

1 平成29年度理事会

年間を通じて 5回

- | | | |
|--------|------------|---------------------|
| (日付内容) | 2017年4月5日 | WAM事業、総会内容、会員規定について |
| | 2017年5月8日 | WAM事業、総会内容、会員規定について |
| | 2017年5月27日 | H28年度事業報告、会計報告、予算の件 |
| | 2017年12月2日 | 会員規定改定の件 |
| | 2018年1月23日 | 会員規約改定の件 |
| | 2月6日 | 会員規約改定の件 |

2 運営会議：街かどデイハウスきんき茶ろんスタッフ会議及び、事務局会議、クラブ代表者会議 年間を通じて 17回 各部門の調整及び情報交換

2017年度の事業会計財産目録

特定非営利活動法人 きんきうえぶ

2017年3月31日現在

科 目	金額 (単位：円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
(現金・預金)			
現金	1,957,771		
普通預金	202,368		
三菱東京UFJ	(64,654)		
近畿大阪	(120,006)		
りそな	(3,722)		
三井住友	(8,618)		
ゆうちょ	(3,000)		
当座預金	3,508		
ゆうちょ	(3,508)		
現金・預金計		2,163,647	
(売上債権)			
未収金	2,548,390		
		2,548,390	
(その他流動資産)			
前払費用	0		
		0	
流動資産合計		4,712,037	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物附属設備	1,380,000		
什器備品	896,000		
減価償却累計額	△ 2,069,409		
有形固定資産合計		206,591	
(2)無形固定資産	0		
無形固定資産合計		0	
固定資産合計		206,591	
資産合計 (A)			4,918,628
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	998,426		
預り金	34,436		
流動負債合計		1,032,862	
負債合計 (B)			1,032,862
正味財産 (A) - (B)			3,885,766

2017年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 きんきうえぶ

2017年 3月 31日現在

科 目	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	2,163,647		
未収金	2,548,390		
前払費用	0		
流動資産合計		4,712,037	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物附属設備	1,380,000		
什器備品	896,000		
減価償却累計額	△ 2,069,409		
有形固定資産合計	206,591		
(2)無形固定資産	0		
無形固定資産合計	0		
(3)投資その他の資産	0		
投資その他の資産合計	0		
固定資産合計		206,591	
資産合計 (A)			4,918,628
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	998,426		
預り金	34,436		
流動負債合計		1,032,862	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計 (B)			1,032,862
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,465,235	
当期正味財産増加額 (減少額)		△ 579,469	
正味財産合計 (C)			3,885,766
負債及び正味財産合計 (B) - (C)			4,918,628

2017年度 特定非営利活動に係る活動計算書

特定非営利活動法人きんきうえぶ

2017年 4月1日から 2018年 3月31日まで

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 入会金・会費収入	58,600	58,600	
2 受取寄付金	0	0	
3 事業収入			
自主事業			
ICT推進事業	4,987,206		
PCサークル運営	87,280		
おはよう伝言板	0	5,074,486	
受託事業			
街かどデイハウス	3,000,000		
実費徴収	1,669,200		
介護予防事業	1,241,400		
市民公益活動支援センター	6,339,000		
生活支援コーディネーター	1,289,000		
まちづくりコーディネート事業	1,998,000	15,536,600	
4 その他収益			
雑収益	365,355	365,355	21,035,041
経常収益計			21,035,041
II 経常費用			
1 事業費			
(人件費)			
給料手当	4,606,000		
福利厚生費	62,777		
人件費計	4,668,777		
(その他経費)			
業務委託費	9,794,062		
諸謝金	809,100		
印刷製本費	148,297		
新聞図書費	56,775		
旅費交通費	43,490		
車両費	115,906		
通信運搬具	844,895		
消耗品費	546,486		
食材料費	643,150		
水道光熱費	452,574		
地代家賃	2,736,000		
賃借料	500,773		
保険料	23,880		
諸会費	93,100		
租税公課	1,400		
支払手数料	11,070		
その他経費計	16,820,958		
事業費計		21,489,735	
2 管理費			
租税公課	102,500		
支払手数料	22,275		
その他経費計	124,775		
管理費計		124,775	
経常費用計			21,614,510
当期正味財産増減額			△ 579,469
前期繰越正味財産額			4,465,235
次期繰越正味財産額			3,885,766

※ 当該年度はその他の事業の実施がありませんでした。